

## 環境首都 SAPPORO（仮）の将来像（目指す姿）について

### 【第 10 次札幌市環境審議会（部会含む）からの意見】

#### ■環境審議会 本会議より

- ・環境の分野を横断する項目として、健康・安全が重要である。
- ・環境首都・国際都市を目指している札幌としては、発信力がまだ弱い。
- ・都市計画やエネルギー計画との結びつけが重要。
- ・人口減少の中、雪対策や二酸化炭素の排出減、適応策の視点が必須。
- ・高齢者の廃棄物処理などが課題として起こっている。
- ・実際に行動するのは市民であり、まちを誇りに思うために何かしたいと思う特に若い力を活用していく視点が重要である。
- ・生物多様性を守っていく本気度が市民に伝わるかが重要である。都市部のヒグマなどは札幌市の特徴である。
- ・札幌市は消費型の都市であり、市外の都市に支えられており、地域との付き合い方や、地域を守っていく視点が重要である。

#### ■環境審議会 部会より

##### ●都市・交通

- ・「環境首都」宣言をした街として、また、積雪寒冷地で暖房が必要なところで、世界の先進的な環境都市でなければいけない。
- ・健全で安全で生産性を下げないことが重要である。
- ・これからの時代は公害ではなく、資源の制約である。
- ・代表的なものは化石エネルギーで、その使用量を削減することで CO2 も減少させることができる。札幌市としてエネルギーの自立を高めなくてはいけない。
- ・モビリティの課題が大きいため、エリアによって、シンプルで安価なモビリティが新しい形で発信できるとよい。
- ・環境や観光・食をもっと宣伝してブランドを上げていけば良いと感じている。
- ・外から見た札幌の魅力は、食べ物、冬の景色、おしゃれな部分であると思う。この 3 つのキーワードをうまく発信できるとよい。

##### ●人（市民）について

- ・札幌市民全員が環境のことをよく知っているという状態を目指すことが基本計画のあり方である。
- ・実際に取り組むのは市民である。市民のアベレージを上げ、さらにレベルの高い人材を作っていくことが必要である。
- ・誰一人置き去りにしないという SDGS の目標の視点が必要である。
- ・環境首都として、ごみの分別のように最低限取り組むべき部分を周知徹底する必要がある。

##### ●連携について

- ・コミュニティの課題に貢献するためにも、環境分野として、連携・ネットワーク型の取り組みが必要である。
- ・マッチング等の取組を充実させ、つながりを作っていくことが重要である。
- ・部局や多団体との連携の視点が重要である。
- ・広域連携では、廃棄物とエネルギーの連携が必要である。

##### ●自然と健康

- ・アスファルト敷きの道路が芝生になり、建物の壁面も緑であふれる街が良い
- ・自然豊かな中で、地球温暖化に伴う災害をいかに減らすか、また災害が起きた際にどのような適応をするかが求められる。
- ・空気と水の美味しい政令指定都市というのは、なかなかない。スリムシティやごみについてだけでなくライフスタイルの面でも魅力的な都市になると良いと思う。
- ・環境健康先進都市になるべきなのではないか。
- ・都市のゾーニングを行い、郊外にも拠点をつくり、人と自然が共存できるエリアがあるような、集中と分散ができるが良いと思う。

##### ●産業

- ・札幌市は大都市であり、消費地としても環境のモデル都市を目指す。
- ・再生可能エネルギーの使用をもっと増やす必要がある。
- ・送電線の配線システムを活用して市として、再エネを流通させる仕組みを構築したい。
- ・2050 年までにすべての建物が次世代住宅基準を満足するものになり、暖房のためのエネルギーが削減されると良い。

##### ●大都市・消費型の都市としての貢献や責任

- ・状況を踏まえながら、貢献というだけではなく一人ひとりが環境に責任を持つということも重要ではないか。
- ・PR も含めた環境技術の実証実験の場を進めていくことが重要ではないか。
- ・まずは地域内で資源を循環させ、完結させることが必要である。
- ・北海道の入り口としてアクセシビリティを強化し、北海道をけん引していくことが必要。

##### ●その他

- ・雪は、エネルギーに使える部分は非常に限定的であり、コストもかかるが、札幌市の特徴を出す上で重要である。
- ・高齢化を考えると、除雪の取組みが上位に入るべきではないか。
- ・健康安全や防災は、自然との共生、循環型、低炭素などの基礎となる項目である。

## 【札幌市の環境の特徴と課題】

### ●札幌市の環境特性

積雪寒冷地

みどりに囲まれた都市構造

きれいな水や空気（健康・安全の確保） など

### ●課題（求められる事項）

温暖化対策・低炭素社会（水素社会）の実現

生物の多様性の確保・自然環境の保全

循環型社会の実現

コンパクトなまちづくり・水とみどりのネットワークの構築

人材育成・環境教育・環境活動の推進

環境首都・札幌としての課題

・環境首都としてのイメージ強化

・ショーケース的な先進的エリアの創出

・札幌市の持つ魅力の発信

社会情勢の変化への対応

・人口減少と少子高齢化

・景気動向の変化

環境産業の創出と育成

・環境関連企業との連携や技術開発

・積雪寒冷地型環境産業の育成

周辺地域や北海道内の他地域の連携による環境施策の推進

気候変動等による災害にも対応できる都市の実現

持続可能なまちづくり

## 【環境首都 SAPPORO(仮)の将来像（目指す姿）】※札幌市環境審議会や市民意見等を踏まえ作成

### 【理念】

市民生活、事業活動、市内外との関わり等、全ての活動において持続可能性をもった”まち”の形成

### 【目指す姿】

世界に貢献していく持続可能な都市「環境首都・SAPPORO(仮)」

徹底した省エネと大幅な再エネの導入等による低炭素化（温室効果ガスを 80%削減）を達成し、生産から消費にいたる市民の生活や事業等における全ての活動で資源の循環が行われ、自然環境や生物多様性の確保が行われた街、札幌。

この街で築き、育まれた環境技術や市民のライフスタイルは、市域を飛び越え、国内外へ波及し、世界各地のまちづくりに貢献している。札幌市民は、この街に住むことに誇りを覚え、さらに魅力あふれる札幌を目指し、一人一人が持続可能なまちづくりに参加している。

## ＜私たちが望む将来の姿のイメージ＞

### ●人（市民）：環境都市であることにシビックプライドを持つ市民の実現

・環境首都であることが誇りになっている市民

・持続可能性に対する理解と行動が結びついた市民

・札幌の自然（森川や雪など）や四季、都市に対して魅力を感じ、その魅力を発信していく市民

### ●コミュニティ：地域の繋がりが活発で、積極的に環境活動を実践している地域の実現

・資源循環や自然との共生などの観点をもった地域活動を実践する地域

・若者から高齢者まで多様な世代が参画し、持続可能な地域活動を実践する地域

### ●産業：札幌の地域特性を活かした新たな産業の創出と世界市場の形成の実現

・積雪寒冷な地域特性を活かした熱や電気エネルギーの省エネ化など新たな技術やビジネスの世界市場化

・北海道の豊富な資源を活用した持続可能な循環型ビジネスの創出

### ●ネットワーク：国内外に貢献していくまちの実現

・道内市町村との連携により、道都として、北海道における環境保全へ積極的に貢献

・北海道のみならず、国内外へ向け環境技術の提供や情報発信等による持続可能な都市づくりへ貢献

### ●自然：自然環境や生物多様性が保全された環境の実現

・豊かなみどりや生き物が保全され、人々が積極的かつ持続的にその資源を活用できる環境の実現

・水、空気、土が良好で、安心して健康な生活が送れる環境の実現

### ●都市：持続可能な都市の実現

・エネルギーネットワークが構築され、豊かなみどりが感じられるなど、低炭素化が進み、世界が目する都心形成の実現

・地下鉄駅周辺などの地域交流拠点を中心とした交通機能の強化により、移動がしやすい都市の実現

・都市サービス機能が充実している地下鉄駅沿線などを中心にした、高密度で質の高い市街地形成の実現

・交通利便性や生活利便性が確保された良質な居住環境の実現

・良好な自然環境の維持・保全・創出がなされた、みどり豊かな都市の実現

・気候変動による気象の変化など災害等に備えた安全・安心な都市づくりの実現